

放射能関係のお知らせ

2018年1月1回(B週)

お届け日:2018/1/8~2018/1/12
発行日:2017/12/18



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/12/14(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	いちご	品目で検査済 たまつくり・とちのみ・うつのみや・はが野・海上・佐原・遠州
	キウイ	品目で検査済 小田原・やはた会・久望
	みかん	品目で検査済 小田原・久望
	りんご	品目で検査済 八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
果菜	きゅうり	品目で検査済 八千代・村悟空・佐原 果菜類で検査済 サンド旭・和郷
	スナップえんどう	品目で検査済 南伊豆
	トマト	品目で検査済 葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ 果菜類で検査済 沃土・元気会・村悟空・佐原
	ミニトマト	品目で検査済 あゆみの会・元気会・和郷 果菜類で検査済 八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空・サンド旭
	大葉	葉菜類で検査済 和郷
葉菜	キャベツ	品目で検査済 谷田部・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・埼玉産直・村悟空・海上・佐原・和郷・南伊豆・三浦EM・遠州 葉菜類で検査済 沃土 検査予定 あいづ
	小松菜	品目で検査済 有機農法ギルド・群馬モグラ 葉菜類で検査済 谷田部・たまつくり・葉菜野果・やさと・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・佐原・八街・和郷・風土の会
	サニーレタス	葉菜類で検査済 谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・八街・海上・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済 あゆみの会・元気会 葉菜類で検査済 夢みなみ・たまつくり・うつのみや・レインボー・村悟空・沃土・佐原・サンド旭・和郷
葉菜	チンゲン菜	品目で検査済 こまち・あゆみの会 葉菜類で検査済 沃土・和郷・遠州
	菜の花	葉菜類で検査済 南伊豆 検査予定 小田原
	にら	葉菜類で検査済 葉菜野果・元気会・野菜くらぶ
	ねぎ	品目で検査済 沃土・八街 葉菜類で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八千代・やさと・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・村悟空・佐原・風土の会
白菜	葉菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・八千代・常総産直・八街・風土の会	
ブロッコリー	品目で検査済 谷田部・八千代・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・南埼玉・村悟空・海上・佐原・サンド旭・和郷	
ベビーリーフ	品目で検査済 フェニクス・レインボー	

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	ほうれん草	葉菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・常総産直・たまつくり・八千代・やさと・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
	みず菜	品目で検査済 葉菜野果 葉菜類で検査済 谷田部・佐原
	ミックスカールスプラウト	品目で検査済 フェニクス
	芽キャベツ	葉菜類で検査済 南伊豆
根菜	レタス	品目で検査済 野菜くらぶ・佐原 葉菜類で検査済 八千代・沃土・海上・サンド旭
	若芽ひじき	品目で検査済 寺島
	かぶ	品目で検査済 沃土 根菜類で検査済 谷田部・たまつくり・八千代・海上・佐原・和郷
	ごぼう	品目で検査済 谷田部・やさと 根菜類で検査済 常総・たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷・清瀬
	里芋・八つ子	品目で検査済 八千代・あゆみの会・沃土・八街・佐原 根菜類で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会
	さつまいも	品目で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・たまつくり・佐原・和郷
	しょうが	根菜類で検査済 村悟空・和郷
	大根	品目で検査済 たまつくり・八千代・海上・三浦EM 根菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・沃土・村悟空・八街・佐原・風土の会・和郷
	長芋	根菜類で検査済 常総・谷田部
	人参	品目で検査済 常総・たまつくり・常総産直・あゆみの会・村悟空・佐原・和郷・清瀬 根菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・やさと・沃土・農法の会・海上・八街・風土の会
にんにく	品目で検査済 八峰園・田子	
ほしいも	品目で検査済 常陸	
れんこん	品目で検査済 常総・有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済 谷田部
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
まいたけ	品目で検査済 雪国
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済 *生しいたけからは放射能が検出されました

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/12/6	11.7
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

*12/13の放射能検査では、生しいたけ(原木栽培)からの検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2017/10/18	3.1 4.8
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*白米で検査を行ったところ、放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 342	豚バラと白菜の中華	2017/11/6	3.8
きなり 308	炒めセットのしいたけ		
コトコ 356	しょうがの鶏白湯		
きなり 142	鍋セットのしいたけ	2017/12/6	11.7
コトコ 111317	鶏肉と野菜の治部煮		
きなり 311	風セットのしいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
yumyum 122602	冷凍さつまいもスティック	2017/11/20	1.3
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185540 240粒:186350	ブルーベリー&ルティン	2017/12/5	8.2
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

2017 年度上期 パルシステム検査進捗状況 4

2017 年度上期のパルシステムの自主検査について、検査進捗状況をお伝えいたします。

検出下限値と自主基準について

食べる側が一番気になるのが検出下限値(検出限界)です。検出下限値は、その食品の放射能検査をどのくらい低く検査しているかという数値です。検出下限値はそれぞれの検査されている自治体や機関によって異なります。牛肉の全頭検査では、検出下限値を 25Bq/kg まで行っています。検出下限値まで検査をして数値がでなければ、不検出となります。パルシステムでは、乳幼児用食品は検出下限を 1Bq/kg で、それ以外の食品は 3Bq/kg で検査を行っています。

一方、自主基準とは、放射能が検出された食品をお届けする基準です。パルシステムでは、セシウム合計で、しいたけ 100Bq/kg、野菜や果物、その他加工食品などは 25Bq/kg としています。しかし、水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品は 10Bq/kg としています。

国では、震災直後 500Bq/kg としていましたが、その後、食品からの被曝を 1 ミリシーベルトとし、一般食品 100Bq/kg、水や飲料は 10Bq/kg、乳幼児用食品や牛乳は 50Bq/kg としました。この基準は放射性セシウムの基準としていますが、ストロンチウムやプルトニウムも含まれた数値です。http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/dl/leaflet_120329.pdf

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1061)」(2017/9/4~2017/11/24 で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体上位数件です。

シイタケ(原木・菌床):宮城県南三陸町ほか 1.4~60Bq/kg
 クリタケ:新潟県湯沢町 5.9~27Bq/kg
 ナラタケ:新潟県湯沢町 6.1~20Bq/kg
 チヤナメツムタケ:新潟県湯沢町 61Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上で検出された検体です。

ヤマメ:福島県天栄村(阿武隈川水系) 110Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

ムキタケ(きのこ):福島県柳津町ほか 15~68Bq/kg
 ナメコ:福島県会津美里町ほか 7.2~46Bq/kg
 ヤマメ:福島県桑折町・福島市(阿武隈川水系) 83~95Bq/kg
 イワナ:福島県福島市(阿武隈川水系) 71~78Bq/kg
 スズキ(海の魚):福島県南相馬市 25Bq/kg

- 気になる検出

スズキの 25Bq/kg

福島で漁獲されたスズキの 25Bq/kg は、海の魚としては高い数値です。海の魚は、体内に塩類を蓄積させずなるべく排出する傾向があるので、放射能も体外に排出しやすいものです。スズキの食べたエサが高い放射性レベルにあるものの可能性があることを示しています。

スズキの寿命は 10 年程度と思われ、また河川をさかのぼる生態もあるようです。小魚や甲殻類を食べているようで、生態的地位が高いことも要因にあります。スズキは海の魚の中では、検出しやすい傾向にあります。

大豆の検出

大豆は、20Bq/kg 未満で福島県以外では 4 件 6~19Bq/kg が宮城県・栃木県から検出されており、福島県では国見町・白河市ほかから 4.6~13Bq/kg が検出されています。大豆は放射性物質も吸収しやすいと言われていたため、なるべく低い検出限界で検査をしているものをもとめるのがおすすめです。

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らずに口にしている可能性があります。検査をしておらず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

12 月の放射能検査状況

12 月の検査は、8 日までで、しいたけより、しいたけ(原木栽培)から 1 件(11.7Bq/kg)、その他食品より、ブルーベリー&ルテインから 1 件(8.2Bq/kg)の放射能検出がありました。それぞれの検出数値は基準値以内でした。たまごの検査が始まりました。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	12 月	12 月の検出内容		12 月	12 月の検出内容
青果	8 (0)		卵	27 (0)	
しいたけ	1 (1)	原木しいたけより 11.7Bq/kg	魚介類	6 (0)	
その他のきのこ類	0 (0)		飲料水・飲料	2 (0)	
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品	9 (0)	
牛乳・乳製品	3 (0)		その他加工食品	45 (1)	ブルーベリー&ルテインより 8.2kg
肉類	0 (0)		合計	101 (2)	

2017 年度の放射能検査の状況(2017 年 4 月~2017 年 11 月)

青果	今年度は青果・果物からの検出はありません。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~15Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	日本の稲作を守る会の玄米(こしひかり)より 2 件(3.1、4.8 Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されましたが、白米で検査したところ不検出でした。 2017 年産米は、27 産地 69 検体の検査が終了し、2 件検出、その他 67 件不検出でした。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより自主基準内で 1 件(1.3Bq/kg)検出されました。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに 1 検体の検査を行っています。2017 年より yumyum で掲載が開始され、検出下限値は 1Bq/kg で行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <乾物> 2017 年 7 月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を 2 台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&Kids のOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を 1Bq/kg まで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
	新	旧
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更		
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準	
2014 年 10 月より現行基準	現	旧		
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100	
しいたけ	100	100		

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
 *乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。